

委員名*	行番号 (e.g. 17)	箇条/細分箇条* (e.g. 3.1)	段落/図/表/ (e.g. 表 1)	コメント タイプ*	コメント*	修正案	検討結果・対応案
渋谷隆 1	177	3.13		ed	用語“管理区域”は JIS C 6802 の用語“レーザ管理区域”と混用されることが危惧される。(実際に JIS C 6802:2014 の JA.*でレーザ管理区域の意味で“管理区域”が用いられている。)用語が異なる旨の注釈を付記することが望ましい。	3.1.3 に次の注釈を点線の下線を施して追加する。 注釈 2 この規格の“管理区域”は、許容されるハザードレベルを区別するため設けた区域の種別の一つであり、JIS C 6802 の用語“レーザ管理区域 (laser controlled area)”とは異なる。	指摘の通り修正します。
渋谷隆 2	198	3.18		ed	この規格は光ファイバ通信分野のレーザ安全性の JIS であるが、光ファイバ通信分野の JIS の用語の英文綴りでは、ファイバは米式の“fiber”で統一されており、英式の“fibre”は IEC 規格の題名をそのまま引用する箇所だけに留めるよう統一されている。 それは光ファイバ通信分野の JIS には対応国際規格を持つものと持たないものがあり、その 2 種類で用語の英文綴りが異なっているのは不都合が生じるからである。一般財団法人光産業技術振興協会は光ファイバ通信分野の JIS において、ファイバの英文綴りとして日本で一般的な“fiber”を採用しており、この規格でもそれに従うべきである。	“optical fibre communication system”を“optical fiber communication system”に置き替える。	指摘の通り修正します。
渋谷隆 3	674	A		ed	“ローカルオペレータ”の用語は、ここだけに用いられており、JIS C 6802 にも使われていない。分かりやすいように書き換えが必要である。	例えば、“通常、局所的な管理下にある一般のレーザ光源に関する措置とは異なったものとなる。”に変更する。	指摘の通り修正します。
渋谷隆 4	676	A		ed	“光ケーブルコネクタ”の用語はここだけに用いられている。	“光コネクタ”に変更する。	指摘の通り修正します。

コメントタイプ: ge = 一般的 te = 技術的 ed = 編集上

*欄 (委員名・箇条/細分箇条、コメントタイプ、コメント) : 必須入力。入力されていないと投票システム (National Ballots) が適切に作動しません。

コメントテンプレートはいかなる方法でも変更しないでください (例えば、列の削除・追加、セルのマージなど)。変更した場合、投票システム (National Ballots) が適切に作動しません。